

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 (初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第7回】

放課後子ども教室の取り組みについて

滋賀県大津市立比叡平小学校長 伊 東 豊

比叡平小学校は比叡山の中腹に開かれた住宅街の中にある小学校です。平成17年度より地域子ども教室開設のための実行委員会が組織され、平成17年7月に地域子ども教室がスタートしました。平成19年4月からは、放課後子ども教室として実施していただいています。指導員や安全管理員には地域の各種団体のメンバーや趣旨に賛同する地域のボランティア約15名が現在交代であたってくださいしています。事務局は公民館の生涯学習専門員が担当しておられます。

子どもたちがのびのびと活動できるように、また、親しみを持って参加してくれるようにとの願いを込め、教室名を「ワンダーランド」と名づけられました。

活動は毎週1回14:00~17:00とし、全校児童を対象に学校の余裕教室や運動場、体育館で活動しています。参加できない児童がないように開催曜日が特定の曜日に偏らない工夫もされています。活動内容は、織物遊び、囲碁・将棋、オセロ、カロム、卓球、バドミントン、けん玉など多くのメニューが用意されており、放課後になると低学年から順次集まって活動しています。保護者の承諾書がないと参加できない登録制になっており、随時受け付けています。登録制は、安全面での配慮です。

「ワンダーランド」がスタートし、地域の方が学校に足を運んでいただくようになってよかったと思うことがいくつかあります。

一つ目は、これまで以上に地域の方と学校との距離が近くなったことです。

二つ目は、地域の方と顔見知りになることで、地域の中でも子どもたちがしっかり挨拶ができるようになり、社会のルールもこれまで以上に守れるように育っていることです。

三つ目は、子どもも大人も互いに元気をもらっていることです。

「ワンダーランド」は自由遊びを基本に運営されていますが、みんなで遊ぶ場の設定も思いやりや協調性の育成の視点から大切ではないかとの反省もあります。課題をクリアしながら一歩一歩前へ進む「ワンダーランド」になることを願っています。

(初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第98号に掲載)